



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月6日

上場会社名 高千穂交易株式会社 上場取引所 東
コード番号 2676 URL <https://www.takachiho-kk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井出 尊信
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 岩本 昌也 TEL 03-3355-1111
四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	18,960	12.0	980	5.4	1,267	8.0	1,021	24.1
2023年3月期第3四半期	16,934	14.5	930	49.5	1,173	57.3	823	56.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,251百万円 (6.8%) 2023年3月期第3四半期 1,171百万円 (99.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	112.66	112.24
2023年3月期第3四半期	92.05	91.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	21,964	16,214	73.8	1,785.79
2023年3月期	22,133	16,432	74.2	1,811.32

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 16,207百万円 2023年3月期 16,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	24.00	—	109.00	133.00
2024年3月期	—	53.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	84.00	137.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,800	6.2	1,620	17.7	1,600	0.7	1,249	3.6	137.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	10,171,800株	2023年3月期	10,171,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,095,791株	2023年3月期	1,104,190株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	9,070,983株	2023年3月期3Q	8,944,723株

（注）期末自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2023年3月期57,900株、2024年3月期3Q57,900株）が含まれております。また、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託（BBT）制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2023年3月期3Q62,022株、2024年3月期3Q57,900株）が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。
また、2024年2月6日（火）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に足踏みもみられますが、緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果により緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、資材価格の高騰、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にありますが、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を見据え、コア領域における高収益事業の拡大及びサービスビジネスの成長や新事業・新ビジネスモデルの創出を図っております。

具体的には、クラウドサービス&サポートセグメントでは、MSPサービスの拡大及びクラウド型サービス等の新たな市場開拓や保守サービスの拡大を図っております。

システムセグメントでは、主要商品である商品監視システム、CCTVや入退室管理システムの付加価値強化、クラウド型無線LANやクラウドセキュリティ商品の販売強化、RFIDシステム、省人化システムなどのリテールソリューションの拡大を図っております。

他方、デバイスセグメントでは、エレクトロニクス事業においては主に通信インフラ市場・通信機器市場、IoTを主とした産業機器市場、アミューズメント市場への拡販及びソリューションビジネスの拡大、またメカトロニクス事業では、半導体製造装置等の産業機器市場や通信機器市場、アミューズメント市場、北米、ASEAN諸国、中国への住宅設備向け機構部品の販売、国内外における自動車内装部品市場の開拓やユニット商品の開発などに注力しております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は、エレクトロニクス商品類で受注残の取り込みが進み、産業機器向け電子部品の販売が好調に推移したこと等により、前年同期比12.0%増の189億60百万円となりました。

損益につきましては、営業利益は上記理由により、前年同期比5.4%増の9億80百万円、経常利益は外貨建て取引の為替差益を計上したことなどから前年同期比8.0%増の12億67百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却益により前年同期比24.1%増の10億21百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(クラウドサービス&サポートセグメント)

クラウドサービス&サポートセグメントは、売上高は前年同期比9.1%増の17億93百万円、営業利益は前年同期比2.5%減の3億36百万円となりました。これは、入退室管理システムの保守収入やMSPサービスの契約数、及びクラウドサービスの種類拡充により売上高は順調に推移した一方で、メーリングシステム保守部品が、円安による仕入れコスト増加と在庫評価損計上により営業利益を押し下げたことによるものです。

(※MSPサービス：クラウド製品の保守運用・稼働監視をサブスクリプション型で行う当社独自のサービス)

(システムセグメント)

システムセグメントの売上高は、前年同期比1.0%増の68億81百万円、営業利益はタイの防火システムの追加工事が発生した影響で前年同期と比較して2億4百万円減少し、マイナス2億44百万円となりました。

リテールソリューション商品類は、家電向け商品監視システムが投資時期の先送りにより減少したものの、アパレル向けにRFIDを応用した商品管理ソリューションやセキュリティシステムが増加したことに加え、ドラッグストア向け商品監視システム等が好調に推移し、売上高は前年同期比0.1%増の23億85百万円となりました。

ビジネスソリューション商品類は、外資オフィス・データセンター向け入退室管理システム等が堅調に推移したことに加え、機器調達が遅れていたメーリングシステムの納品が完了したことにより、売上高は前年同期比4.3%増の23億31百万円となりました。

グローバル商品類は、タイのアパレル店舗向けのセキュリティシステムが好調に推移したものの、発電所建設計画遅延により防火システムが減収となり、売上高は前年同期比1.4%減の21億64百万円となりました。

(デバイスセグメント)

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比21.4%増の102億85百万円、営業利益は前年同期比42.0%増の8億88百万円となりました。

エレクトロニクス商品類では、前期末の受注残の取り込みが進み、産業機器向け等の電子部品の販売が好調に推移しました。加えて、2021年に代理店契約を締結したNTCJ社製品の販売が好調に推移したことや、民生機器やアミューズメント向けに新規採用が増加したことにより、売上高は前年同期比33.4%増の69億11百万円となりました。

(※NTCJ：ヌヴォトンテクノロジージャパン株式会社)

メカトロニクス商品類では、新紙幣改刷による銀行端末向け機構部品の販売や新商材「スパイラルシャフト」等の直動製品がスマート遊技機に採用されたことによりアミューズメント向けの販売が好調に推移し、売上高は前年同期比2.4%増の33億74百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1億68百万円減少し、219億64百万円となりました。これは現金及び預金が7億62百万円増加した一方で、売掛金が6億82百万円、受取手形が2億60百万円減少したことなどによるものです。

他方、負債は、前連結会計年度末と比べ49百万円増加し、57億50百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が3億61百万円減少した一方で、未払法人税等が2億20百万円、契約負債が2億12百万円増加したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ2億17百万円減少し、162億14百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益10億21百万円、配当金の支払14億78百万円などにより、利益剰余金が4億56百万円減少した一方で、為替換算調整勘定が1億91百万円増加したことなどによるものです。自己資本比率は前連結会計年度末から0.4ポイント下降し、73.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」(2023年5月12日公表)で発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,509	5,271
受取手形	376	116
売掛金	5,557	4,875
契約資産	815	619
電子記録債権	797	934
商品及び製品	4,880	4,801
原材料	195	199
前払費用	981	1,238
その他	188	126
貸倒引当金	△0	△3
流動資産合計	18,302	18,178
固定資産		
有形固定資産	446	478
無形固定資産	233	177
投資その他の資産		
投資有価証券	2,586	2,641
繰延税金資産	119	38
敷金及び保証金	333	331
その他	112	118
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,151	3,129
固定資産合計	3,831	3,786
資産合計	22,133	21,964

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,059	2,698
未払法人税等	124	344
契約負債	947	1,159
賞与引当金	387	153
役員賞与引当金	34	42
その他	398	561
流動負債合計	4,952	4,961
固定負債		
長期未払金	20	12
役員株式給付引当金	9	18
退職給付に係る負債	679	674
その他	40	83
固定負債合計	748	788
負債合計	5,700	5,750
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209	1,209
資本剰余金	1,375	1,377
利益剰余金	13,979	13,522
自己株式	△1,085	△1,077
株主資本合計	15,478	15,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	691	737
為替換算調整勘定	227	419
退職給付に係る調整累計額	26	19
その他の包括利益累計額合計	946	1,176
新株予約権	8	6
非支配株主持分	0	0
純資産合計	16,432	16,214
負債純資産合計	22,133	21,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	16,934	18,960
売上原価	12,725	14,577
売上総利益	4,208	4,382
販売費及び一般管理費	3,278	3,402
営業利益	930	980
営業外収益		
受取利息	2	22
受取配当金	42	63
為替差益	193	206
受取保険金	5	2
持分法による投資利益	9	—
その他	11	17
営業外収益合計	265	313
営業外費用		
事務所移転費用	6	—
支払手数料	1	1
投資事業組合運用損	12	22
その他	0	1
営業外費用合計	21	25
経常利益	1,173	1,267
特別利益		
新株予約権戻入益	0	—
投資有価証券売却益	—	280
特別利益合計	0	280
特別損失		
減損損失	※ 12	—
特別損失合計	12	—
税金等調整前四半期純利益	1,162	1,548
法人税、住民税及び事業税	326	461
法人税等調整額	13	64
法人税等合計	339	526
四半期純利益	823	1,021
親会社株主に帰属する四半期純利益	823	1,021

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	823	1,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	196	45
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	161	191
退職給付に係る調整額	△6	△7
その他の包括利益合計	348	230
四半期包括利益	1,171	1,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,171	1,251

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※減損損失

前第3四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

場所	用途	種類
東京都他	遊休資産	無形固定資産（電話加入権）
埼玉県比企郡小川町	遊休資産	無形固定資産（施設利用権）

① 減損損失を認識するに至った経緯

前第3四半期連結累計期間において、事業の用に供していない遊休資産のうち、回収可能価額が帳簿価額を下回っている資産グループについて減損損失を計上しております。

② 減損損失の金額

電話加入権	11百万円
施設利用権（霊園）	1百万円

③ 資産のグルーピング方法

当社グループは、原則として、事業用資産については事業の種類を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

④ 回収可能価額の算定方法

遊休資産の回収可能価額は、市場価格等に基づく正味売却価額により測定しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	クラウドサービス&サポート	システム	デバイス	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,643	6,815	8,475	16,934	—	16,934
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,643	6,815	8,475	16,934	—	16,934
セグメント利益又は損 失(△)	344	△40	625	930	—	930

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	クラウドサービス&サポート	システム	デバイス	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,793	6,881	10,285	18,960	—	18,960
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,793	6,881	10,285	18,960	—	18,960
セグメント利益又は損 失(△)	336	△244	888	980	—	980

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を、商品類別に分解した情報は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
クラウドサービス&サポート商品類	1,643	1,793
クラウドサービス&サポート 計	1,643	1,793
リテールソリューション商品類	2,383	2,385
ビジネスソリューション商品類	2,236	2,331
グローバル商品類	2,195	2,164
システム 計	6,815	6,881
エレクトロニクス商品類	5,179	6,911
メカトロニクス商品類	3,295	3,374
デバイス 計	8,475	10,285
顧客との契約から生じる収益	16,934	18,960
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	16,934	18,960

(重要な後発事象)

該当事項はありません。